

習志野市立第二中学校 技術・家庭科（家庭）第3学年 シラバス

【学習の目標等】

- (1) 実践的・体験的な学習を通して、生活の自立に必要な家族・家庭生活に関する基礎的な知識と技術を習得しよう。
- (2) 課題をもって健康・快適・安全で豊かな家族・家庭生活に向けて考え、工夫する活動を通して生活に係る課題を解決する力を養い、実践しよう。
- (3) よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けよう。

【評価の観点及び内容、方法】

観点	内容	方法
知識・技能	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解しているとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づくことができる。 ・生活の自立に関する基礎的な知識、技能を身に付けている。	ノート ワークシート 製作物(レポート含む) テスト
思考・判断・表現	・自分と家族、家庭や地域における消費生活、持続可能な家庭・地域生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫し、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現したり、解決する力を身に付けている。	授業中の発表 行動観察 ノート ワークシート 製作物(レポート含む) テスト
主体的に学習に取り組む態度	・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活への実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。	授業中の発表 行動観察 ワークシート 評価カード

【教科担任からのメッセージ】

(1) 技術・家庭科（家庭分野）の学習について

授業で学んだことを日常生活の中で実践してこそ意味がある教科です。課題を解決する力やより豊かな生活を送るための術を身に付けていきましょう。そのためには、主体的に学びながら周囲に目を向け、周りの人と協力して、共に力を伸ばしていくことが大切です。

(2) 授業の持ち物

教科書、ノート（昨年から使用しているもの）、タブレット、裁縫道具

(3) 授業の進め方・学習のポイント

考えることを大切にしながら、積極的に授業に参加しましょう。また、提出物は、期限を守って必ず出しましょう。

日々の生活に疑問を持ち、学んだことを意識的に日常生活で実践しましょう。

(4) 家庭学習について

授業内で終わらなかった課題については、家庭学習で進めていきましょう。

【学習計画】（週時間数 0.5 時間）

	題材・学習内容	学習のねらい
1 学期	〔私たちの消費生活〕 ③バランス良く計画的な金銭管理 ④消費者トラブルとその対策 ・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。 〔責任ある消費者になるために〕 ①何を考えて決めますか・意思決定のプロセス・ ②消費者としてできること・権利と責任 〔家族・家庭生活での自立〕 ①家庭生活の協力・協働	・計画的な金銭管理や三者間契約の仕組みについて理解しながら、金銭管理の必要性について、課題の解決に主体的に取り組む。 ・中学生に関わりの深いトラブル事例から、主体的に工夫して学習する。 ・消費生活センターやクーリング・オフ制度などについて理解する。 ・本当に必要かどうかを判断することの大切さに気づき、多くの情報の中から適切な情報を収集・整理し、物資やサービスの適切な選択ができるようにする。 ・消費者の権利と責任について中学生の消費行動や具体的な事例を挙げて主体的に考える。 ・中学生になった自分と家族の生活を振り返り、家庭における自分の役割に気づき、これまでの学習や生活を振り返って、家族や地域の一員としてできることを具体的に考える。
2 学期	〔幼児の生活と家族〕 ①幼い頃の振り返り ②③幼児の体・心の発達 ④幼児の1日の生活 ⑤支えられて身につける生活習慣 ⑥幼児の生活と遊び ⑦遊びを豊かにする物 保育実習の布名札製作 ⑧幼児との関わり方の工夫 保育実習	・発達段階や子どもによって、遊びの種類や遊び方、友達との関わり方などに異なる特徴があることに気づかせ、それをレポートにまとめる。 ・幼児の心身の発達を踏まえ、幼児が興味を持てるような名札を作る。 ・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫しながら課題の解決に主体的に取り組む。
3 学期	〔持続可能な家庭・地域生活〕 ①家族との関わり ②家族や地域の高齢者との関わり 高齢者体験 ③地域での協働を目指して	・高齢者の体の特徴を理解し、高齢者との関わり方を体験的な活動を通して考える。 ・家庭生活が地域との相互の関わりで成り立っていることに気づき、地域のために自分ができることを考える。